

一般社団法人地理情報システム学会第 62 回理事会 議事録

開催日時： 平成 30 年 1 月 17 日（日）18 時 00 分～20 時 20 分

開催場所： 学会センタービル 地下 1 階会議室

出席者： 理事：大場，小口，大佛，小荒井，貞広，山田，山本
監事：玉川

配付資料： 2019_0117_理事会(62)

議事

・開会

定刻 18 時 00 分に、小口会長が議長を務めて開会を宣言した。理事の出席数を確認し、本理事会が適法に成立している旨を告げた。

総理事 10 名

出席理事数 7 名

議事概要：

議決事項

第 1 号議案 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）の年会費有料化に伴う参加継続可否について

- ・ 渉外担当山田理事から GEAHSS からの会費についての問い合わせが紹介され、本学会は提案 1「各学協会 5000 円」を回答することとした。
- ・ 参加継続についてはペンディングとし、アンケート結果等のフィードバックを依頼するとともに、どのような学会がどのような理由で参加しているのか尋ねることとした。

第 2 号議案 学会賞の追加新設について

- ・ 学会賞委員会担当大佛副会長から、GIS に関する実践的活動の顕彰を目的とした学会賞（実践部門）の追加新設が提案され、了承された。
- ・ 学会賞（実践部門）の募集要項、評価方法についても提案され、語句のわずかな変更はあるものの、了承された。また、学会賞（実践部門）の募集をすぐに行うこととした。

第 3 号議案 名誉会員について

- ・ 小口会長から岡部篤行会員、山村悦夫会員が名誉会員に推薦され、了承された。また、次回理事会で、歴代会長以外の候補者を各理事が推薦することとした。

第 4 号議案 G 空間 EXPO について

- ・ 小口会長から、情報開示の遅さ、イベントの重複開催、参加者の少なさなどの問題が指摘されるとともに、会計報告を請求する必要が示された。

- ・小口会長から企画担当小荒井理事に対して、来年度のG空間EXPOの予定が明確になりしだい、理事会に報告するように要請された。
- ・本学会のアンケートの回答に対してG空間EXPOの事務局がどのように対応するかを問い合わせ、その回答により次段階の対応を検討することとした。

報告事項

報告1 職務執行状況について（一部議決を含む）

- ・財務担当大場理事から資料にもとづき説明があった。
- ・広報担当大場理事から資料にもとづき説明があった。
- ・教育担当貞広理事から資料にもとづき説明があった。
- ・渉外担当山田理事から資料にもとづき説明があり、日本学術会議については渉外委員会で対応することとした。これに伴い、防災学術連携体の防災連携委員は、現在の瀬戸委員（代議員）から渉外担当山田理事に交代することとした。
- ・学会賞委員会担当大佛副会長から資料にもとづき説明があった。
- ・大会実行委員会担当大佛副会長から資料にもとづき説明があり、学生の懇親会費用を削減する必要性が示された。
- ・編集担当奥貫理事に代わって、小口会長から資料にもとづき説明があった。小口会長から査読者の貢献を評価する制度を導入することが提案された。
- ・GIS資格認定担当大伴理事に代わって、小口会長から資料にもとづき説明があった。
- ・企画担当小荒井理事から資料にもとづき説明があった。

報告2 入退会会員リストについて

- ・資料をもとに確認を行った。
- ・その他
 - ・次回理事会は4月3日（水）または4日（木）に学会センタービル地下1階会議室にて行うこととし、日程調整を行うこととした。
 - ・総会は5～6月の週末に開催することとし、日程調整を行うこととした。

閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が20時20分に本理事会の閉会を宣言した。

出席理事および監事

理事	大場 亨
理事	小口 高
理事	大佛 俊泰
理事	小荒井 衛
理事	貞広 幸雄
理事	山田 育穂
理事	山本 佳世子
監事	玉川 英則

以上の決議を明確にするため、山本事務局長が本議事録を作成し、議長及び出席理事・監事全員が記名押印する。

平成 31 年 1 月 17 日

一般社団法人地理情報システム学会

理事 大場 亨

理事 小口 高

理事 大佛 俊泰

理事 小荒井 衛

理事 貞広 幸雄

理事 山田 育穂

理事 山本 佳世子

監事 玉川 英則